

劇場事業課 施設利用係
森 充子 (令和二年入社)



セカンドキャリアのスタート
未経験でも安心してチャレンジ出来る職場



ある日のスケジュール

- 9:30 出勤、メールチェック
- 10:30 利用者打合せ、見学対応
- 12:30 利用者アンケートの確認
- 13:00 お昼休憩
- 14:00 打合せ後の書類作成など
- 16:00 打合せ日程調整、事務作業
- 17:00 経理事務
- 18:00 退勤
井筒屋のデパ地下で夕食のお惣菜を買って帰宅♪

一財団を志望した理由を教えてください

友人が財団内の埋蔵文化財調査室に勤務していて「忙しいけどやりがいがあって充実している」と話してくれたのが最初のきっかけでした。子育てが落ち着いた後、市施設などの臨時職員・嘱託職員として働いていたのですが、セカンドキャリア的にももう少し社会と深く関る仕事がしてみたい、チャレンジしてみたい、と思い受験しました。

一担当業務について教えてください

北九州芸術劇場は、市民の皆さんに施設をご利用いただく「貸館事業」の運営と、劇場自らが企画・製作を担う「自主事業」の運営を柱としています。私は「貸館事業」を担当しています。具体的には、施設をご利用いただく主催者の方と打合せを行い、当日の運営までをトータルでサポートしていきます。事前の見学対応やホームページ等の情報更新、また楽屋の管理運営業務なども行っています。

一仕事のやりがいや面白さはどんな所ですか

基本的に一公演一担当制なので、最初のご挨拶から本番までの約3か月間、“自分の担当公演”として受け持ちます。利用者の方と一対一で関係性を築きながら、当日までサポートしていく事が出来るので、終わった後は大きな達成感を感じます。一般的な市の嘱託職員よりは業務量は多いかなと思いますが、フォロー体制がしっかりしているので未経験でも安心して取り組みますし、日々とてもやりがいを感じます。



一印象に残っている出来事がありますか

入社したのがちょうどコロナ禍の始まりだったので、対策などイレギュラーな業務が頻発しました。主催者の方からの様々な要望にどのように対応していくか、一つ一つ答えを探していくような作業で悩む事も多かったのですが、終了後の利用者アンケートで「様々な場面での対応が適切だった」とお褒めの言葉をいただき、頑張った良かった！と強く感じました。多くの方にご利用いただく施設なので、もちろんルールや制約はありますが、その中でどのように工夫しながら寄り添っていけるか、という事を大切にしています。そうやって丁寧に関係性を築いていく事で、また次も劇場を利用したい、とリピーターになってくださる方も多く、それがやりがいにも繋がっています。

一職場自慢、これから受験される皆さんへのメッセージをお願いします！

担当制とはいえ、常に係内で情報を共有しながら休暇の際は代わりにメールを返してくれたり、催事はどうしても土日祝が多いので平日休みが多くなりますが、月に一度は土日休みも取れるようにしたり、とにかくチームワークの良い職場です。あとは、みんなちょっとした事でもよく笑うので、笑いが絶えません(笑)。入社当時は、業務量の幅広さやシフト勤務など慣れない部分もありましたが、前向きに何かに取り組んでみたい方にとっては、安心してチャレンジできる環境だと思います。日常的に芸術文化に触れ心豊かな時間が増えたお陰か、最近イライラする事が減った気がするんです(笑)。是非一緒に働いてみましょう！

